

要 望 書

熊本港の整備について

平成 24 年 2 月

熊本港振興協会

熊本商工会議所

熊本経済同友会

熊本港の整備について

【要望の趣旨】

熊本経済の活性化を図るため、経済成長著しい東アジア等を見据え、熊本都市圏の物流、人流の拠点である重要港湾「熊本港」の機能向上に向けた積極的な整備を引き続きお願いするもの。

【要望の理由】

熊本港については、これまで、重要港湾として国の技術の総力を結集して整備を進めていただいております、まずもって、関係各位のご尽力に感謝申し上げる次第であります。

さて、熊本港は、昭和 48 年に、熊本都市圏域の産業基盤の整備、都市流通機能の充実等を図る目的をもって、人工島方式の港湾として計画され、昭和 54 年には熊本県が橋梁工事に着手し、昭和 57 年からは国の直轄事業として整備が進められ、平成 11 年には水深 7.5m 岸壁第 1 バースの供用が開始されたところであります。

このような中、物流面においては、釜山港との間に国際海上コンテナ航路が開設されるとともに、荷主企業へのポートセールスなどの熊本県、熊本市による積極的な取り組みなどにより、熊本港におけるコンテナ取扱量は近年増加傾向にあり、国際港としての役割も高まってきております。

また、国の直轄事業として水深 7.5m 岸壁のガントリークレーン用の補強整備が実施され、平成 24 年度にはガントリークレーンの供用開始が予定されていることから、今後、東アジア諸国へ向けた利用拡大が期待されるところでございます。

さらには、燻蒸倉庫につきましても、中国へ輸出される米の病害虫駆除施設として、平成 23 年 6 月に農林水産省に登録され、現在菊陽町の精米工場も指定候補となっていることから、中国への米輸出の体制が出来上がりつつあります。

また、熊本港は、東アジア諸国から観光客増加に寄与できる外航クルーズ船や外航フェリー及びRORO船等の利用港としての期待も高まっているところでございます。

そこで、私どもとしては、このような諸般の状況を見据え、下記について格段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 熊本経済の活性化に向けて、重要港湾熊本港について、経済成長著しい、中国・韓国等をはじめとした東アジア諸国の物流、人流拠点としての機能を向上させるための必要な整備に十分な予算を確保していただきたい。

以上

平成24年2月

熊本港振興協会会長

久我 彰



熊本商工会議所会頭

田川 憲



熊本経済同友会代表幹事
代表幹事

大久保 太郎
甲斐 隆

